

ツールキット：ため池の造成



地域社会に受け入れられるツールキットとは何か？

- 恵みの森再生プロジェクトを立ち上げてから様々なイベント（＝ツールキット）を考案し地域社会に提示してきた
→どのようなツールキットが地域社会に必要とされ、そして受け入れられるのか？



現在模索中

塩田平の気候特性とため池文化

- 塩田平は年間降雨量が少なく稲作に重要な「水の確保」が困難な気候特性を持つ
 - 農業用水の確保のために多くのため池が造成されている
 - 森林内に造られたため池も多数存在



棚田用のため池



須川湖

ため池がもたらす恵み

- 農業用水の確保
 - 安定した稲作を可能とする
- 魚類の養殖場所
 - コイやフナなどの養殖池として利用
 - タンパク源の確保だけでなく、地域住民がコミュニケーションを取るためのイベントとしても重要な役割を担う
- 生物多様性の向上
 - 水辺を利用する動植物が生息場所として利用
- 独特な生態系を提供
 - 農繁期に貯水し、農閑期に池干し
 - 一年中水があるわけではない
 - ため池は河川における「わんど」と類似の生態系特性を持つ？
 - ため池独特の生態系がもたらす生態系サービスが存在？

森林と同様に放棄されている「ため池」という存在をツールキットに利用できないか？

森林内のため池がもたらす恵み（1）

- 森林の生物多様性を増加
 - 生活史の一時期に水辺を利用する昆虫類や両生類などが利用
 - 哺乳類や鳥類は水飲み場などに利用
 - 湿地性の植物が生育可能
 - 森林内水域は森林における生物多様性を向上
 - 森林の各種生態系サービスが増加する（はず）



森林内のため池がもたらす恵み（2）

■ 伝統的文化の復活

→昔ながらのため池造成技術ならびに管理の手法を取り入れることで、塩田平の伝統文化を復活させる

■ 環境教育の場

→教育機関における環境教育の実習場所として利用

■ 地域のコミュニケーションステーションとして

→農閑期の「池干し」は地域住民が楽しんで参加するイベント

■ 水辺がもたらす精神的安らぎ

■ 観光資源や特産品

→ため池とその文化を観光資源とした「ため池観光」により地域振興にもつながる？

→付加価値を付けた「ため池」特産品の開発

→「ため池」特産品×森の恵みの特産品の相乗効果

ため池は「地域がのりやすい」 ツールキット？

- 塩田平は地域住民の「水の確保」に対する意識が非常に強い土地
 - 「水辺の創出」は地域の人々の心に強く訴えかける
 - 地域の自然環境に応じて形成された文化的背景からため池は「地域がのれるツールキット」になり得るのでは？

長野大学恵みの森における ため池の造成予定地



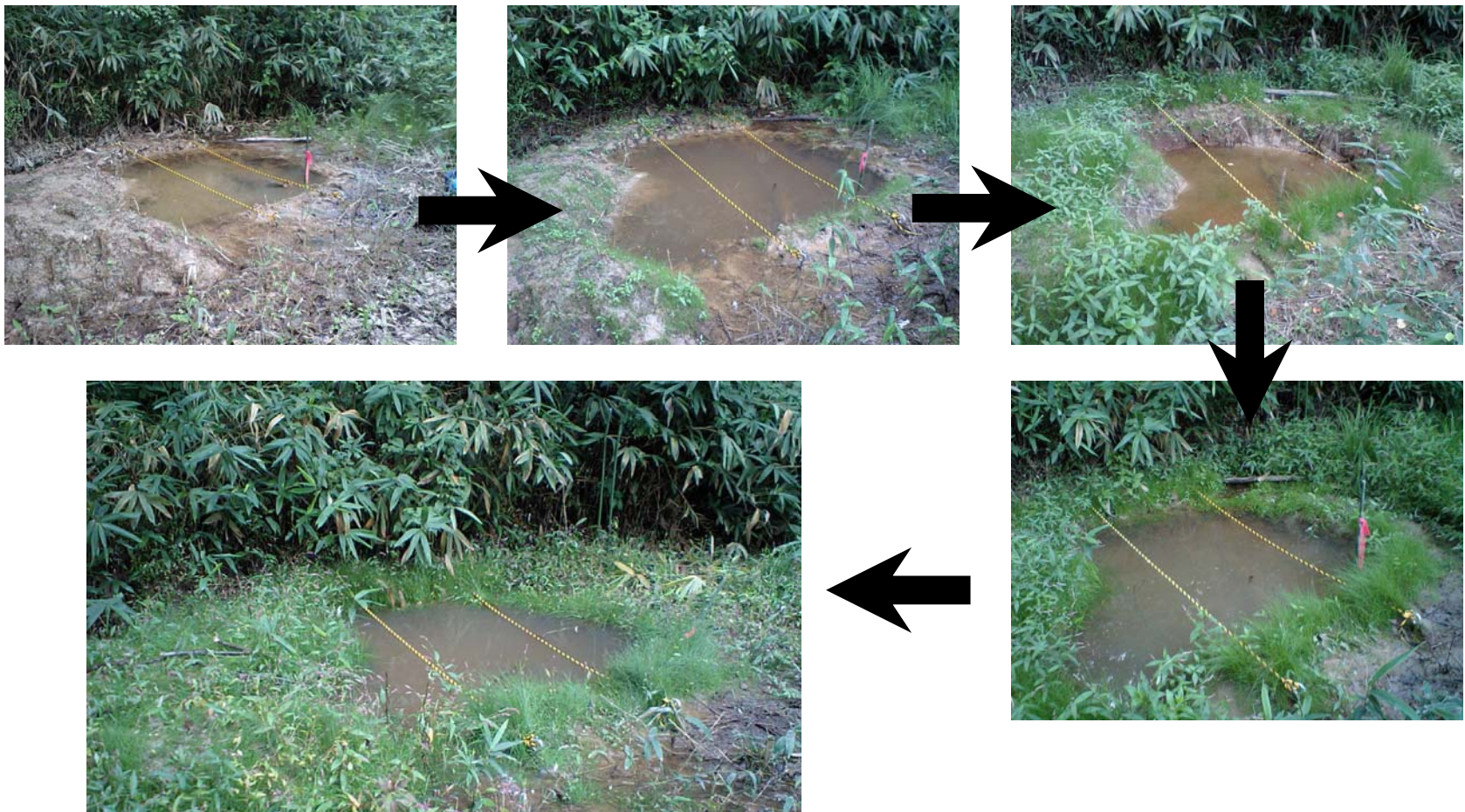
ため池づくり：予備調査

- ため池予定地の適正と林内水域が森林の生物多様性向上に貢献するかどうかを知るために、2008年6月13日にゼミ活動の一環として池掘り

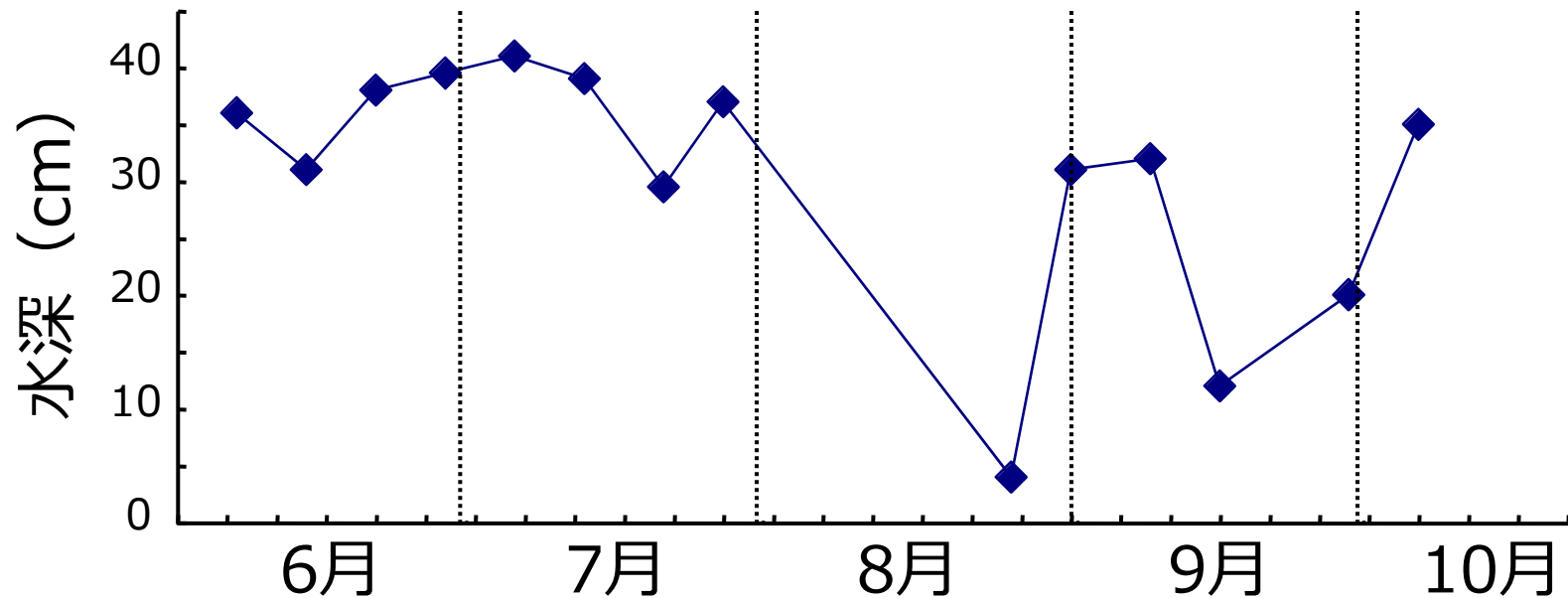


ため池づくり：予備調査

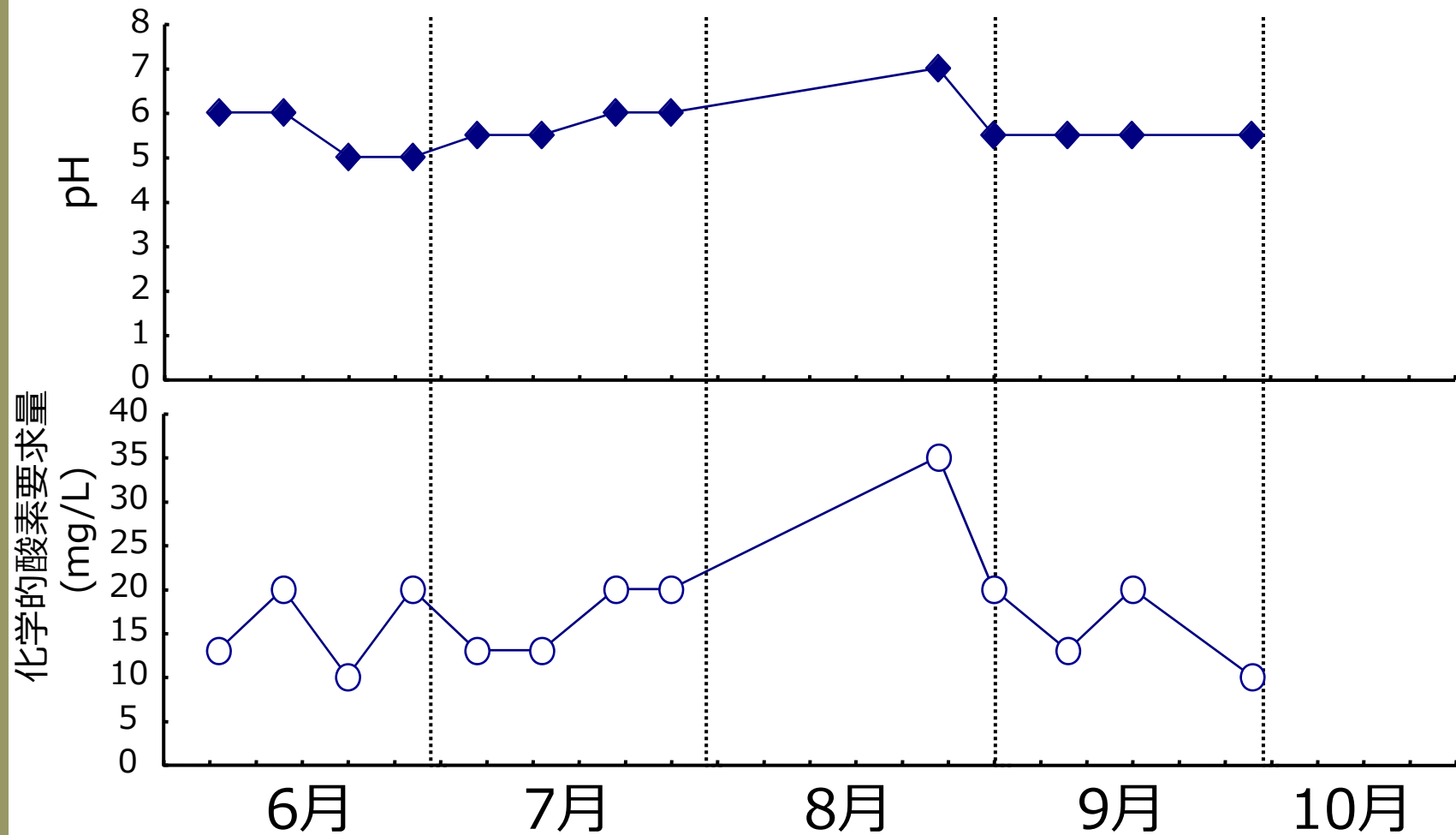
■水位・水質・池内&周辺生物相の定期モニタリング



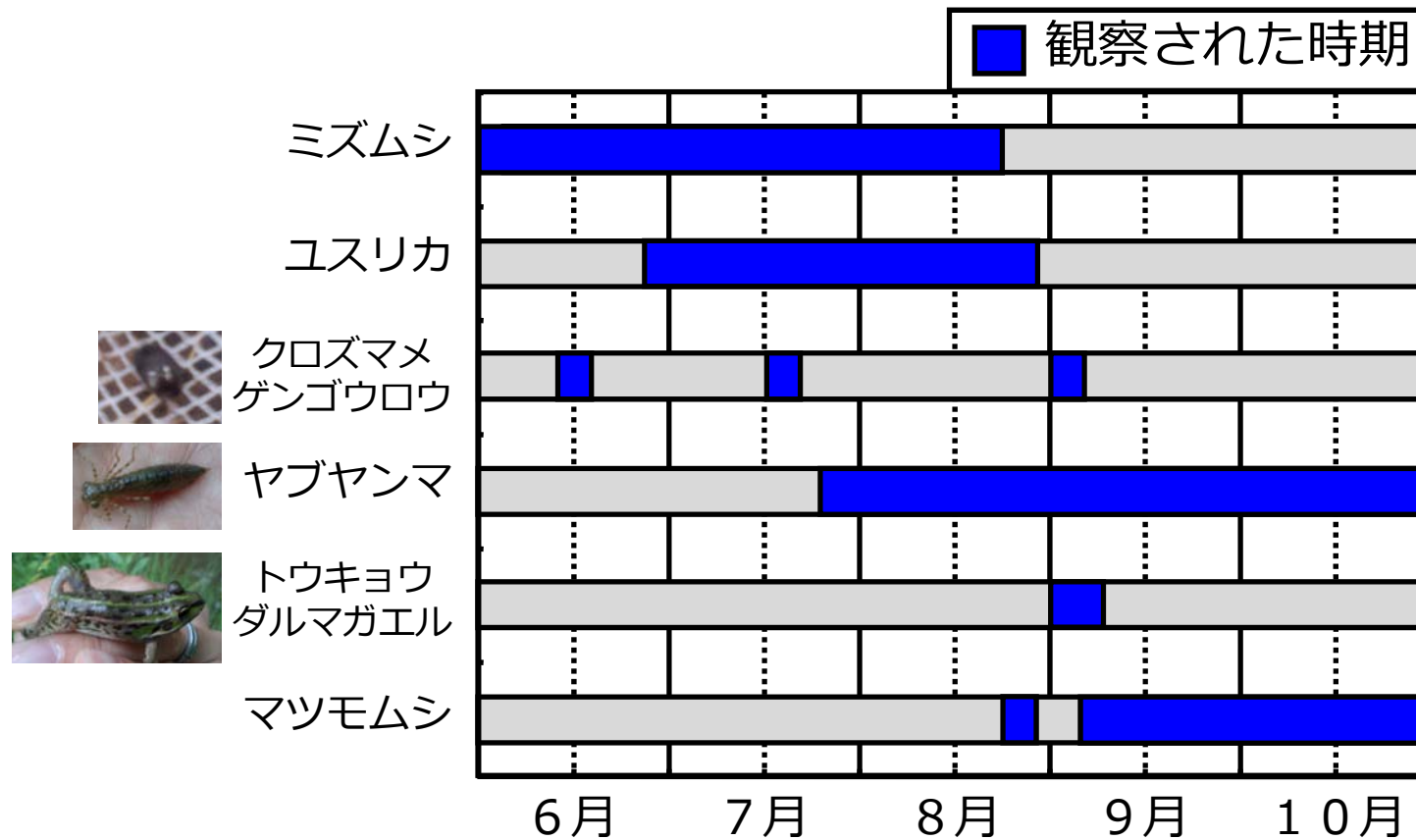
恵みの森ため池の水深の経時変化



ため池の水質の経時変化



生物相の変化（1）



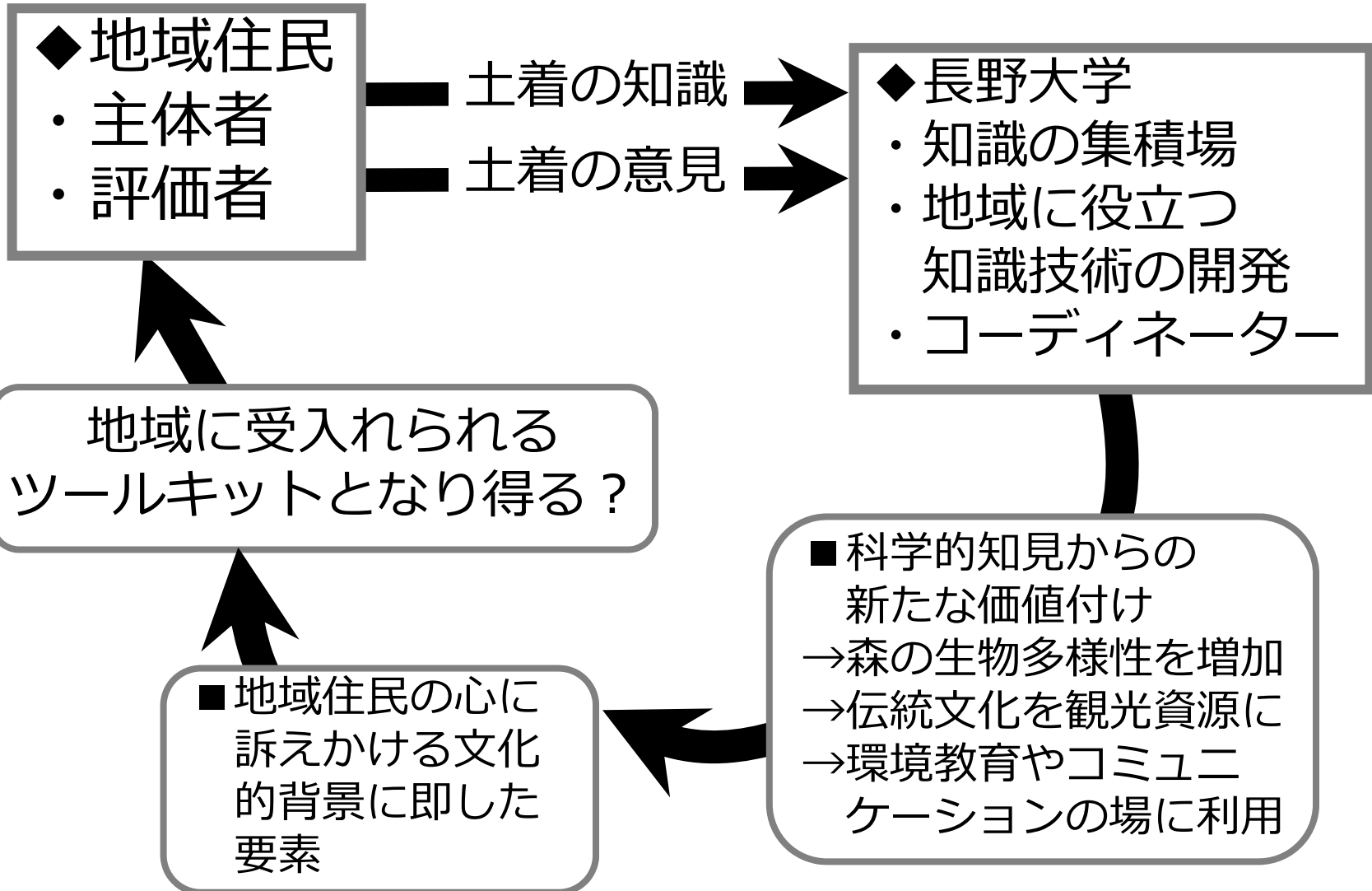
生物相の変化（2）



夏場にはほ乳類が利用しだす



「ため池ツールキット」を介した 大学と地域の相互作用



午後の実習について

- 伝統的なため池造りの技術を用いて小規模なため池を林内に造成
 - 伝統的文化についての体験学習
 - 森林の生態系サービスの創出・管理手法の学習